

プロフィール

片野修

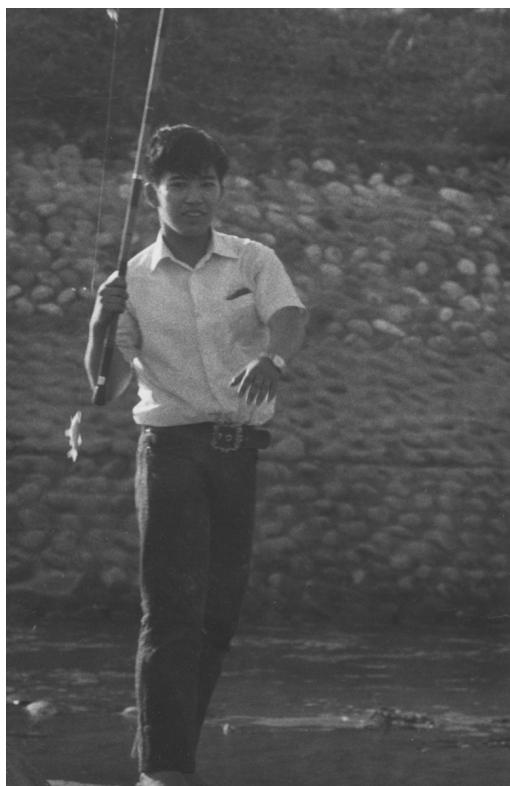
1956 神奈川県藤沢市辻堂で生まれる。

辻堂小学校に入学するも、人口急増にともない、高砂小学校に転校。

1966 父の転勤にともなって、富山県高岡市の佐野小学校に転校。

毎日、川で釣りをするようになる。

1971 辻堂に戻り、鎌倉高校に入学する。



高校生の頃

1974 鎌倉高校卒業。予備校生活を送る。

1975 京都大学理学部入学

釣りクラブに入って、釣りばかりする。

卒業研究で上桂川の魚類群集について調査した。

1979 大学院で動物生態学研究室に入学。カワムツの研究を始める。

1981 修士課程修了。博士前期課程に進む。

1982 清滝川のカワムツ社会について研究する。

その後、資料のまとめと論文執筆に苦労する。

1983 修士論文を「生理生態」に掲載する。

1987 理学博士 取得。審査委員の伊谷純一郎先生に評価されてうれしかった。

京都大学理学部研修員、立命館大学非常勤講師となる。

1990 京都大学学術出版会から『個性の生態学』を出版。八木俊樹編集長にお世話になった。

『個性の生態学』は池田清彦、川道武男、小原秀雄先生から書評をいただいた。



大学3年。精悍だった頃



大学院で自信満々の頃

1991 科学技術庁科学技術特別研究員として、長野県上田市の中央水産研究所に勤務。

魚類生態研究室の前川光司室長にはたいへんお世話になった。

1994 特別研究員終了後に無職となり、信州大学の研究生となる。

高田啓介先生にお世話になった。

1995 水産庁中央水産研究所内水面利用部魚類生態研究室に主任研究官として採用される。

その後、魚類生態研究室長、上席研究員、主幹研究員を歴任。

水産庁の希少魚や外来魚関係の事業に携わる。

管理職につかなかつたので、定年まで研究を続けることができた。

2012 東京海洋大学の客員教授を併任（2016まで）

◦

2016 定年退職

2020 佐久大学非常勤講師となり「人間環境と生物科学」を担当する。（2026まで）

ウェブサイト「魚類学者の文学散歩」を始める。

主な役職

鮎の放流と友釣りを考える会 会長（1999~2025）

佐久大学看護学部非常勤講師（2020~2026）

国土交通省信濃川中流域水環境改善検討協議会委員

上小漁業協同組合資格審査委員会委員長

その他、農水省、環境省、国土交通省、長野県の委員を務める。